

令和 5 年度

履修ガイダンス

愛知県立一宮起工科高等学校
昼間定時制

クラス	年 組 番
氏名	

	目	次
1 令和5年度履修登録ガイダンス資料	2
2 令和5年度科目案内		
	国 語 3
	地 理 歴 史 4
	公 民 4
	数 学 5
	理 科 6
	保 健 体 育 7
	芸 術 8
	外 国 語 ・ 英 語 9
	家 庭 10
	情 報 10
	専 門 科 目 (商 業 ・ 工 業) 11
	総 合 探 究 12

1 令和5年度履修登録ガイダンス資料

(4) 必履修科目

(1) 卒業の要件

ア 高等学校での在籍が、3年以上(他校での在籍も含め認定された在籍年数の合計)であること。

イ 74単位以上修得されていること。

ウ 本校の必履修科目の履修が全て済んでいること(修得の義務はない)。

エ HR・学校行事等の特別活動を3年分履修していること。

オ 授業料等を完納していること。

(2) 高認・併修について

ア 原則として、2年生以上の生徒で、前年度までに不履修となった科目について、単年度あたり6単位以内の単位認定が可能。

イ 年度末で、本校の修得科目が0単位の場合は、単位認定を行わない。

(3) 技能審査について

在学中に英検や漢検等の技能審査に合格し、その対応する科目を修得した場合に、修得した単位に当該科目の単位を増加単位として認定する。認定科目・増加数は別途指示。

ア 午後の授業の中には、1つの講座だけでは単位数が必履修科目の履修条件に満たない場合があります。 イ 詳しくは、担任又は、教務部に相談してください。			平成25年度以降の入学		
令和4年度以降の入学			令和4年度以降の入学		
教科	科目	必要単位数	教科	科目	必要単位数
国語	現代の国語	2単位	国語	国語総合	4単位
	言語文化	2単位		世界史A	いずれか1科目
地理歴史	地理総合	2単位	地理歴史	世界史B	
	歴史総合	2単位		日本史A	いずれか1科目
公民	公民	2単位		日本史B	
数学	数学I	3単位		地理A	
	科学と人間生活	科学と人間生活と 〇〇基礎1科目の2科目 又は 〇〇基礎を3科目	公民	現代社会	どちらかの 組み合わせ
理科	物理基礎			倫理	
	化学基礎			政治・経済	
	生物基礎			数学	数学I
	地学基礎			科学と人間生活	科学と人間生活と 〇〇基礎1科目の2科目 または 〇〇基礎を3科目
保健体育	体育	7単位	理科	物理基礎	
	保健	2単位		化学基礎	
	美術I	いずれか1科目		生物基礎	
芸術	工芸I		保健体育	体育	7単位
	書道I			保健	2単位
外国語	英語コミュニケーションI	3単位	芸術	美術I	いずれか1科目
家庭	家庭基礎	2単位		工芸I	
情報	情報I	2単位		書道I	
	総合的な探究の時間	3単位	外国語	コミュニケーション英語I	3単位
			家庭	家庭基礎	2単位
			情報	社会と情報 情報の科学	いずれか1科目
				総合的な探究(学習)の時間	

2 令和5年度科目案内
国語

★は新教育課程科目

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座等の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	◎	2	現代の国語		★ 旧課程国語総合のみなし科目	実社会に必要な国語技能や知識を学びます。論理的な思考力や、共感想像する力を伸ばし、伝えあう力を高めていきます。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	「高等学校 新編 現代の国語」 第一学習社
	午前	全員	◎	2	言語文化		★ 旧課程国語総合のみなし科目	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識を身に付けるとともに、小説や古典をはじめとした言語文化を理解する力を養います。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	「高等学校 新編 言語文化」 第一学習社
	特別	選択		2	国語基礎		★ 学校設定科目	日本語の表現力・読解力を更に伸ばすよう書き取り・読み取りの反復練習を中心に学習します。また、現代文・古文の著名作品を読み、読解力を深めます。国語の発展・応用も行います。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	なし
2	午前	全員		2	文学国語		★	日本語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨いていきます。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	「新編 文学国語」 大修館書店
	午後	選択	◎	2	現代の国語基礎	現代の国語	★ 旧課程国語総合のみなし科目	実社会に必要な国語技能や知識を学びながら、伝え合う力を高めていきます。第一学年の「現代の国語」で学習した内容の定着、発展を行います。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	なし
	特別	選択	◎	2	日本語文化	言語文化	★ 旧課程国語総合のみなし科目	社会生活に必要な知識を身に付けるとともに、言語文化を理解する力を養います。第一学年の「言語文化」で学習した内容を深めていきます。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	なし
3	午前	全員		2	現代文 A		前年までに国語総合の履修が必要	評論・随想と小説を主に扱い、基礎的な読解力を身に付けられるように展開します。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	「高等学校 改訂版 新編現代文A」 第一学習社
		選択		2	古典 A		前年までに国語総合の履修が必要	国語総合での履修内容をふまえ、古典の著名作品を読み、あらすじをつかみ鑑賞を行います。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	「古典A」 三省堂
	選択		4	現代文 B		前年までに国語総合の履修が必要	評論・随想と小説を主に扱い、正しい読解とより深い内容理解ができるように展開します。現代文Aより深い内容となります。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	「明解現代文B改訂版」 三省堂	
	午後	選択		1	現代文 B 基礎	現代文B	前年までに国語総合の履修が必要	現代文Bの学習を補う意味で、基礎的読解能力の向上を図ります。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	なし
	特別	選択		2	作品講読	現代文B	前年までに国語総合の履修が必要	評論・随想と小説を主に扱い、一つの作品を深く読み込むことで、深い読解力を身に付けられるように展開します。現代文Bより深い内容となります。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	なし
4	午前	選択		2	現代文 A		前年までに国語総合の履修が必要	評論・随想・小説を主に扱い、正しい読解とより深い内容理解を身に付けられるように展開します。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・提出物(課題・ノート・プリントなど)・小テスト・関心・態度など	「現代文A」 東京書籍

※◎は2科目履修で、合計4単位の科目履修が必要となる。

地理歴史

★は新教育課程科目

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座等の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	◎	2	歴史総合		★ 旧課程世界史Aのみなし科目	18世紀以降の日本と世界の歴史を一体のものとして「総合」的に学びます。知識を得るだけでなく、資料をまとめて発表したり、討論したりして、自分の意見を深めていきます。	主に講義形式ですが、意見を交換したりもします。	定期考査・授業態度・提出物	「歴史総合」実教出版
	午後	選択	◎	2	歴史総合基礎	歴史総合	★ 旧課程世界史Aのみなし科目	世界の一体化が進む近現代史のダイナミックな動きを、歴史上の人物やモノを素材にして、より深く学びます。	講義形式で行います。	定期考査・授業態度・提出物	なし
3	午前	選択	□	4	日本史B			先史時代、古代から近代・現代までを概略的通史的に学びます。日本の歴史の推移を見ることに主題を置きます。	講義形式で行います。	定期考査・出席・授業態度・提出物	「高校日本史 改訂版」山川出版
		選択	□	2	地理A			現代社会の地理についての基礎的知識を学びます。身近な地域の地理を取り上げるとともに国際社会への関心を高める授業を行います。	講義形式で行います。	定期考査・授業態度・提出物	「高等学校 新地理A」帝国書院
	午後	選択	□	2	午後地理A	地理A		現代社会の地理についての基礎的知識を学びます。身近な地域の地理を取り上げるとともに国際社会への関心を高める授業を行います。	主に作業を中心として行います。	定期考査・授業態度・提出物	なし
4	午前	選択	□	2	日本史A			近代・現代を中心とする日本の歴史を国際的視野に立って学びます。身近な地域の歴史を取り上げ、歴史への関心を高める授業を行います。	講義形式で行います。	定期考査・出席・授業態度・提出物	「現代の日本史 改訂版」山川出版

※◎の1科目、□から1科目の履修が必要となる。

公民

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座等の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	◎	2	現代社会			現代の政治・経済に関する基礎的な知識を学びます。資料集・新聞などを用いて、時事問題の解説などを行い、私たちが社会生活をする上での問題意識をもてるように授業を行います。	講義形式で行います。	定期考査・出席・授業態度・提出物	「最新現代社会 新訂版」実教出版 「新詳高等地図」帝国書院
	特別	選択	◎	2	社会研究	現代社会		現代の政治・経済に関する基礎的な知識を学びます。資料集・新聞などを用いて、時事問題の解説などを行い、問題意識を高める授業を行います。	講義形式で行います。	定期考査・授業態度・提出物	なし
	午前	全員	◎	2	公共		★ 旧課程現代社会のみなし科目	現代社会のさまざまな問題について、基本的な知識を身につけ、問題の解決に主体的に考えて判断する能力を伸ばす授業を行います。	基本的に講義形式ですが、意見を交換したり、調べ学習を取り入れたりします。	定期考査・出席・授業態度・提出物	「公共」教育図書
2	午後	選択	◎	2	公共基礎	公共	★ 旧課程現代社会のみなし科目	さまざまな資料を使いながら、現代社会の諸問題を具体的に扱い、問題の解決に主体的に取り組む態度を身につけます。	基本的に講義形式ですが、意見を交換したり、調べ学習を取り入れたりします。	定期考査・出席・授業態度・提出物	なし
3	午前	選択	◇	2	倫理			西洋・東洋・日本の代表的な思想家について、その生涯と考えを平易に解説します。	講義形式で行います。	定期考査・出席・授業態度・提出物	「高等学校 現代倫理 新訂版」清水書院
		選択	◇	2	政治経済			現代の政治・経済に関する基礎的な知識を学びます。資料集・新聞などを用いて、現代社会の諸課題についての基本的な見方や考え方をもちょうに授業を行います。	講義形式で行います。	定期考査・出席・授業態度・提出物	「最新政治・経済 新訂版」実教出版

※◎の1科目、◇のついた科目は2科目両方履修することが必要となる(令和4年度以降は、旧課程「現代社会」は設定なし)。

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座等の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	◎	3	数 学 I		★ 旧課程数学 I の みなし科目	「数と式」「2次関数」「三角比」について、教科書に沿って学びます。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・小テスト・課題・各種提出物・関心・態度	「高校数学 I」実教出版
	午後	選択	○	2	数 学 I 基 礎	数学 I	★ 旧課程数学 I の みなし科目	身近に使われている数学や数学の歴史などにも触れ、中学校の復習も含めた基本的な内容を学習します。また、午前の数学 I の復習も取り扱います。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・小テスト・課題・各種提出物・関心・態度	なし
		選択	○	1	数 学 I 演 習	数学 I	★ 旧課程数学 I の みなし科目	午前の数学 I の復習・発展問題を扱います。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・小テスト・課題・各種提出物・関心・態度	なし
	特別	選択	○	2	基 礎 数 学	数学 I	★ 旧課程数学 I の みなし科目	身近に使われている数学や中学校の復習も含めた基礎的な内容を学習します。また、数学 I の復習も取り扱います。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・小テスト・課題・各種提出物・関心・態度	なし
2	午前	全員		2	数 学 A		★	「場合の数」「確率」「図形の性質」「数学と人間の活動」について、教科書に沿って学びます。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・小テスト・課題・各種提出物・関心・態度	「高校数学A」実教出版
	特別	選択		2	数 学 研 究	数学A	★ 旧課程数学Aの みなし科目	基礎的な内容を中心に、数学的な考え方について学習します。様々な問題を学習し、いろいろな解き方を学びます。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・小テスト・課題・各種提出物・関心・態度	なし
3	午前	選択		4	数 学 II		前年までに数学 I の履修が必要	「複素数」「方程式」「図形と方程式」「いろいろな関数」「微分と積分」について、教科書に沿って学びます。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・課題・提出物	「高校数学 II 新訂版」実教出版
		選択		2	数 学 B		前年までに数学 I の履修が必要	「数列」と「ベクトル」について、教科書に沿って学びます。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・課題・提出物	「高校数学B 新訂版」実教出版
	特別	選択		2	数 学 一 般	数学B	前年までに数学 I の履修が必要	基礎的な内容を中心に、数学的な考え方について学習します。受験問題や就職問題を学習し、いろいろな解き方を学びます。	講義形式で行い、プリントで繰り返し復習します。	定期考査・課題・提出物	なし

※◎は1科目履修で必修条件の単位数となる科目で、○は合計3単位の科目履修が必要となる(数学 I 基礎と基礎数学は、どちらか片方のみ履修可)。

理科

★は新教育課程科目

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座等の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	◎	2	科学と人間生活		★ 旧課程科学と人間生活のみなし科目	理科の各分野(生物・化学・物理・地学)の基礎知識から、それを応用した現代の科学技術について学び、身近な生活の中で利用している「もの」に対する好奇心を養います。	講義形式で行います。	定期考査・授業プリント 課題・提出物 関心・態度	「高等学校 科学と人間生活」 啓林館
	特別	選択	◎	2	理 科 研 究	科学と人間生活	★ 旧課程科学と人間生活のみなし科目	科学や技術について関心をもち、人間生活の中での理科の役割について学んでいきます。	講義及び簡単な実験・実習を行います。	定期考査・授業プリント 課題・提出物 関心・態度	なし
2	午前	全員	○	2	生 物 基 礎		★ 旧課程生物基礎のみなし科目	「代謝」「遺伝子」「恒常性」などの分野を学ぶことで生命現象を理解する力を養います。	講義形式で行います。	定期考査・授業プリント 課題・提出物 関心・態度	「高校 生物基礎」 実教出版
	特別	選択	○	2	環 境 科 学	生物基礎	★ 旧課程生物基礎のみなし科目	生物的環境を中心に、「地球」「科学と日常生活との関わり」「環境問題」などを扱っていきます。	講義形式で行います。	定期考査・授業プリント 課題・提出物 関心・態度	なし
3	午前	選択	○	2	化 学 基 礎			中学校までに学習した化学の基本を振り返りつつ、より深い理解を進め、身のまわりの化学的な現象への興味を養います。	講義形式で行います。	定期考査・小テスト 課題・提出物 関心・態度	「改訂 新編化学基礎」 東京書籍
		選択	○	2	物 理 基 礎			身近な生活の中での物理現象を中心に、力学やエネルギーの基礎知識を学ぶことで考察していきます。	講義形式で行います。	定期考査・授業プリント 課題・提出物 関心・態度	「改訂 新編物理基礎」 東京書籍
		選択	○	2	地 学 基 礎			地球の構造から生命誕生の歴史そして宇宙にいたるまで、地学分野の基礎を学び科学への興味を深めます。	講義形式で行います。	定期考査・授業プリント 課題・提出物 関心・態度	「地学基礎 新訂版」 実教出版
		選択		4	生 物		前年までに生物基礎の履修が必要	2年生で学んだ生物基礎をもとに、さらに生物を系統的に理解し探究する態度と能力を身に付けます。	講義形式で行います。	定期考査・小テスト 課題・提出物 関心・態度	「生物 改訂版」 啓林館
	午後	選択		1	理 科 課 題 研 究		前年までに生物基礎の履修が必要	環境問題や日常の人間生活の科学的な疑問を、実験や実習を通して考察します。	講義及び簡単な実験・実習を行います。	定期考査・レポート作成 課題・提出物 関心・態度	なし
4	午前	選択	○	2	化 学 基 礎			中学校までに学習した化学の基本を振り返りつつ、より深い理解を進め、身のまわりの化学的な現象への興味を養います。	講義形式で行います。	定期考査・小テスト 課題・提出物 関心・態度	「改訂 新編化学基礎」 東京書籍
		選択	○	2	物 理 基 礎			身近な生活の中での物理現象を中心に、力学やエネルギーの基礎知識を学ぶことで考察します。	講義形式で行います。	定期考査・小テスト 課題・提出物 関心・態度	「改訂 新編物理基礎」 東京書籍

※理科の履修条件

A ◎のついた科目1科目と○のついた科目1科目の合計2科目履修すること。

B ○のついた科目を3科目履修すること。

※AとBのどちらかの条件を満たすこと。

保健体育

★は新教育課程科目

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座等の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	◎	2	体 育		★ 旧課程体育の みなし科目	【種 目】体づくり運動、陸上競技、サッカー、バレーボール、バドミントン、卓球、バスケットボール、テニス 【体育理論】スポーツの意義や歴史、文化的特徴や現代スポーツを取り巻くさまざまな問題について学習する。	実技、課題等	運動の技能・知識 課題解決に向けての思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	「現代高等保健体育」 大修館書店 (4年間使用)
		全員	◎	1	保 健		★ 旧課程保健の みなし科目	現代の健康問題や新しい時代の健康の考え方、安全な社会づくりなどについて学習する。	おもに講義形式	定期考査 提出物 主体的に取り組む態度	「現代高等保健体育」 大修館書店 (4年間使用)
	午後	選択	○	1	体 育		★ 旧課程体育の みなし科目	バスケットボール、バドミントン、卓球、テニス、サッカー	実技、課題等	運動の技能・知識 課題解決に向けての思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	「現代高等保健体育」 大修館書店 (4年間使用)
2	午前	全員	◎	2	体 育		★ 旧課程体育の みなし科目	【種 目】体づくり運動、陸上競技、サッカー、バレーボール、バドミントン、卓球、バスケットボール、テニス 【体育理論】運動やスポーツの効果的な学び方について学習する。	実技、課題等	運動の技能・知識 課題解決に向けての思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	「現代高等保健体育」 大修館書店 (4年間使用)
		全員	◎	1	保 健		★ 旧課程保健の みなし科目	思春期から中高年期までに出会うさまざまな健康課題、労働と健康との関係や働く人々の健康が保持増進されるしくみ、環境・食品と健康との関係、社会全体の健康を高めるために、私たち一人ひとりが環境づくりに積極的に参加する意義やその方法について学習する。	おもに講義形式	定期考査 提出物 主体的に取り組む態度	「現代高等保健体育」 大修館書店 (4年間使用)
	午後	選択	○	1	体 育		★ 旧課程体育の みなし科目	バスケットボール、バドミントン、卓球、テニス、サッカー	実技、課題等	運動の技能・知識 課題解決に向けての思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	「現代高等保健体育」 大修館書店 (4年間使用)
3	午前	全員	◎	2	体 育			【種 目】体づくり運動、陸上競技、サッカー、バレーボール、テニス、バドミントン、卓球、バスケットボール 【体育理論】自己の体に気付き、体の調子を整えたりする体ほぐしの意義と行い方等について学習する。	左記種目を、施設等を考慮し、1年間に配分して学習する。	出席、運動の技能、運動への関心・意欲、運動や安全についての知識・理解	「現代高等保健体育 改訂版」 大修館 (4年間使用)
	午後	選択	○	1	体 育			テニス、バドミントン、バスケットボール、卓球	左記種目を、施設等を考慮し、1年間に配分して学習する。	出席、運動の技能、運動への関心・意欲、運動や安全についての知識・理解	「現代高等保健体育 改訂版」 大修館(4年間使用)
	特別	選択	○	2	総合スポーツ	体育		グランドゴルフ、バドミントン、ベースボール、バレーボール、バスケットボール、卓球、ドッチビーなど生涯スポーツとして行える軽スポーツを中心に学習する。	左記種目を、施設等を考慮し、1年間に配分して学習する。	出席、運動の技能、運動への関心・意欲、運動や安全についての知識・理解	なし
		選択	○	2	くらしと健康	保健		現代社会でより快適に生活をするために、健康に関心を持ち住環境・食環境などを見直し、どのように関わっていくかを学ぶ。	演習・実習形式で行います。	通常授業や定期考査期間中の実習・出席・提出物	なし
4	午前	全員	◎	2	体 育		【種 目】体づくり運動、陸上競技、サッカー、バレーボール、バドミントン、卓球、バスケットボール、テニス 【体育理論】自己の体に気付き、体の調子を整えたりする体ほぐしの意義と行い方等について学習する。	左記種目を、施設等を考慮し、1年間に配分して学習する。男女共修で行う。	出席、運動の技能、学習への関心・意欲、運動や安全についての知識・理解	「現代高等保健体育 改訂版」 大修館(4年間使用)	

※体育合計7単位以上、保健2単位以上履修することが必要となる。

芸術

★は新教育課程科目

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座等の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
2	午前	選択	○	2	美術 I		★ 旧課程美術 I の みなし科目	鉛筆スケッチやポスター等、描くことを中心とした授業です。教材費は自己負担です(2000円)。	作品制作が中心です。	作品・意欲	「美術 I」 光村図書出版
		選択	○	2	工芸 I		★ 旧課程工芸 I の みなし科目	実用的なものづくりを中心とした授業です。材料費は自己負担です(4000円)。	作品制作が中心です。	作品・意欲	「工芸 I」 日本文教出版
		選択	○	2	書道 I		★ 旧課程書道 I の みなし科目	楷・行・草・篆・隸の五体について、臨書を中心に学ぶと共に作品作りをする(3000円)。	実技が中心です。	課題・意欲	「書道 I」 教育出版
	午後	選択	○	2	美術 I		★ 旧課程美術 I の みなし科目	造形や工作など、作ることを中心とした授業です。教材費は、自己負担です(2000円)。	作品制作が中心です。	作品・意欲	なし
3	特別	選択	○	2	書道入門	書道 I		楷・行・草・篆・隸の五体について、臨書を中心に学ぶと共に作品作りをする(3000円)。	実技が中心です。	課題・意欲	なし
4	特別	選択	○	2	デザイン	工芸 I		平面的なものづくりを中心とした授業です。材料費は自己負担です(3000円)。	作品制作が中心です。	作品・意欲	なし

※3科目の中から1科目履修することが必要となる。

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座等の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	○	2	英語コミュニケーション I		★ 旧課程コミュニケーション英語 I のみなし科目	聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの「5つの領域」を総合的に育成するための基礎的な英語力の向上を目指します。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・小テスト 課題・提出物 関心・態度	Amity English Communication I 開隆堂
	特別	選択		2	基礎英語		★ 学校設定科目	高校英語への円滑な接続のための基本的な英語力の向上を目指します。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・小テスト 課題・提出物 関心・態度	なし
2	午前	全員	◎	3	英語コミュニケーション I		★ 旧課程コミュニケーション英語 I のみなし科目	聞くこと、読むことを通して英語に関する知識・技能を身につけ、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことを通して英語を活用する能力を身につけます。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・小テスト・パフォーマンステスト 課題・提出物 関心・態度	「All aboard! English Communication I」 東京書籍
	午後	選択	○	1	英語コミュニケーション I 演習	英語コミュニケーション I	★ 旧課程コミュニケーション英語 I のみなし科目	「英語コミュニケーション I」で学習する分野について、特に使用頻度の高い「語」を取り上げながら、会話表現を中心に問題演習を行います。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・小テスト 課題・提出物 関心・態度	なし
3	午前	選択		4	コミュニケーション英語 II		前年までにコミュニケーション英語 I の履修が必要	「コミュニケーション英語 I」で学習した内容を踏まえ、より総合的な英語力を習得することを目的とします。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・小テスト 課題・提出物 関心・態度	「All aboard! English Communication II」 東京書籍
	特別	選択		2	英語研究	コミュニケーション英語 II	前年までにコミュニケーション英語 I の履修が必要	英文を多く読むことで、正確に内容を読み取ることを目標にします。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・小テスト 課題・提出物 関心・態度	なし
4	午前	選択		2	総合英語			英語を読むこと・書くこと・話すこと・聞くことの基礎的な知識の習得と、その総合的な活用能力を育てることをねらいとして学習します。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・小テスト 課題・提出物 関心・態度	「Trinity+L2 基礎編 英語総合問題集」 啓隆社
	特別	選択		2	外国事情	異文化理解		異文化に関する資料を英文で読むことを通じて、異文化を知る機会とします。	講義及び演習形式で行います。	定期考査・小テスト 課題・提出物 関心・態度	「Touch the World Reading SERIES I」 中部日本教育文化会

※◎は1科目履修で必修条件の単位数となる科目で、○は合計3単位の科目履修が必要となる。

家庭

★は新教育課程科目

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座等の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	◎	2	家庭基礎		★ 旧課程家庭基礎のみなし科目	「自分らしい生き方と家族」、「衣生活をつくる」、「食生活をつくる」、「子どもとかかわる」、「消費行動を考える」について学びます。実習費として1200円必要です	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・実習・関心・態度	「家庭基礎 気づく力 築く未来」 実教出版
2	特別	選択	◎	2	料理研究	家庭基礎	★ 旧課程家庭基礎のみなし科目	「自分らしい生き方と家族」、「衣生活をつくる」、「食生活をつくる」、「子どもとかかわる」、「消費行動を考える」について学びます。実習費として、年間2000円必要です。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・実習・関心・態度	「家庭基礎 気づく力 築く未来」 実教出版
3	午後	選択	◎	2	午後家庭基礎	家庭基礎		「子どもとかかわる」、「高齢者とかかわる」、「住生活をつくる」、「消費者として自立する」について学習します。実習費として、年間2000円必要です。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・実習・関心・態度	「新家庭基礎 パートナーシップでつくる未来」 実教出版
4	午前	選択		2	フードデザイン			楽しく主体的に調理実習をしながら、素材についての知識を深め、調理方法と調理科学の関係、食文化、食卓の演出等について学びます。実習費として、年間4000円必要です。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・実習・関心・態度	「フードデザイン cooking & arrangement」 教育図書

※◎のついた科目を1科目履修する。

情報

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座等の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
2	午前	全員	◎	2	情報 I		★ 旧課程社会と情報のみなし科目	ワードやエクセルを使い、パソコンによる文章の入力及び表計算の基礎を学習します。また、パワーポイントでの資料の作成等を学習します。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・課題・提出物 関心・態度	「最新情報 I」 実教出版
	特別	選択	◎	2	パソコン	情報 I	★ 旧課程社会と情報のみなし科目	パソコンの基本知識に加えて、主に表計算ソフトを使った関数の利用やグラフの作成を学びます。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・課題・提出物 関心・態度	なし
3	午後	選択	◎	2	情報の科学			パソコンの基本知識に加えて、主に表計算ソフトを使った関数の利用やグラフの作成を学びます。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・課題・提出物	なし

※◎のついた科目を1科目履修する。

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	科目名	特別講座等の正式科目名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午後	選択		2	情報処理		★	表計算ソフトについて、基礎から学習します。履修者は、1月の情報処理検定受験を目標とするので、応用的な内容も含まれます。教材費が必要です。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・態度・出席(実習点含む)	「情報処理 Prologue of Computer」 実教出版
	特別	選択		2	ワープロ	情報処理	★	表計算ソフトについて、基礎から学習します。履修者は、1月の情報処理検定受験を目標とするので、応用的な内容も含まれます。教材費が必要です。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・態度・出席(実習点含む)	「情報処理 Prologue of Computer」 実教出版
	特別	選択		2	デザイン基礎		★ 学校設定科目	レタリングや、立体デザインを中心とした授業です。材料費は自己負担です(3000円)。	作品制作が中心です。	作品・意欲	なし
2	午後	選択		2	ビジネスコミュニケーション		★	ビジネスの様々な場面で役に立つコミュニケーションに関する知識と技術を身につけます。教材費が必要です。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・態度・出席(実習点含む)	「ビジネスコミュニケーション」 実教出版
3	午前	選択		2	ビジネス情報			主にネットワークに関する用語や表計算ソフトを活用した学習を行います。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・態度・出席(実習点含む)	「ビジネス情報 新訂版」 実教出版
4	午前	選択		2	情報処理			表計算ソフトを学習します。状況を見て、応用的な内容も学習します。	講義及び実習形式で行います。	実技試験・提出物・態度・出席(実習点含む)	「最新情報処理 新訂版」 実教出版
		選択		2	ビジネス情報			ネットワークや表計算ソフトの応用的な活用について学習します。	講義及び実習形式で行います。	定期考査・提出物・態度・出席(実習点含む)	「ビジネス情報 新訂版」 実教出版
	特別	選択		2	染色	工業技術基礎		実習を通して、染色を勉強します。材料費は自己負担(3000円)です。	実技(捺染・草木染・シルクスクリーン・絞り染め)が中心です。	実習作品・態度	なし

総合的な探究の時間

学年	授業の種類	選択区分	必修科目	単位数	講座名	備考	学習内容	学習方法	評価方法	使用教科書
1	午前	全員	◎	1	「キャリア」について		「キャリア」という言葉を具体的に考え、自分自身の将来をワークシートにまとめる。また、理想の職業に就く上で必要な資質や技能について、各自が調査してグループで発表し合い、今後どのような努力が必要か認識する。	講義及びグループ学習を行います。	ワークシート 感想文 調査・発表 振り返りシート	なし
					職業と適性について		職業適性検査の結果を自分で冷静に分析し、今後どのような点を改善していけばいいかを、具体的にワークシートにまとめ、今後の目標を定める。	講義及びグループ学習を行います。	ワークシート 感想文 調査・発表 振り返りシート	なし
					就職について		就職する際に必要な心構えについて意見交換を行い、どのような準備が必要かを自ら発見し解決に導く。また、実際の求人票や就職試験問題、作文を体験することで、より具体的な努力目標を定める。	講義及びグループ学習を行います。	ワークシート 感想文 調査・発表 振り返りシート	なし
2	午前	全員	◎	1	進路探究		就職活動や進学をする上での心構えと基本的なマナーについて学びます。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート 発表	なし
					ことばと文化		古代から現代までの幅広い言語文化を学ぶことにより、日本語に対する理解を深め、日本語を用いて正しく表現する力を身に付けます。また、伝統的なことばの文化に楽しみながら触れます。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート 参加態度	なし
					健康探究		これからの健康の維持向上のための問題点を考え、健康増進のためにできることを考えていきます。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート レポート提出 発表	なし
3・4	午前	全員	◎	1	身近な数学		日常生活に必要な計算を学習する。また、数学的事象を深く考え、日常生活に活かせるようにします。	講義及び実習形式で行います。	プリント提出 レポート提出 参加態度	なし
					体のしくみ		体のしくみを血液型・性別・色覚などの遺伝を通して理解し、話し合いや演習を行うことで、様々な意見やデータをもとに考察します。	講義及び実習形式で行います。	レポート・プリント提出 感想文 参加態度	なし
					異文化探究		海外旅行で想定される会話の様々な表現方法を探究するとともに、英語圏の文化・習慣に関する知識を深めます。	講義及び実習形式で行います。	振り返りシート 参加態度	なし
					はくぶつ		地域の歴史と文化をはじめ、現代社会の課題についてグループワークを通じて探究し、コミュニケーション能力を養い、メディアリテラシーを身に付けます。	講義及び実習形式で行います。	研究計画書 レポート作成と発表 感想文	なし

※卒業までに3単位履修。講座内容は都合により変更の可能性もあります。